

# ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2022年1月)

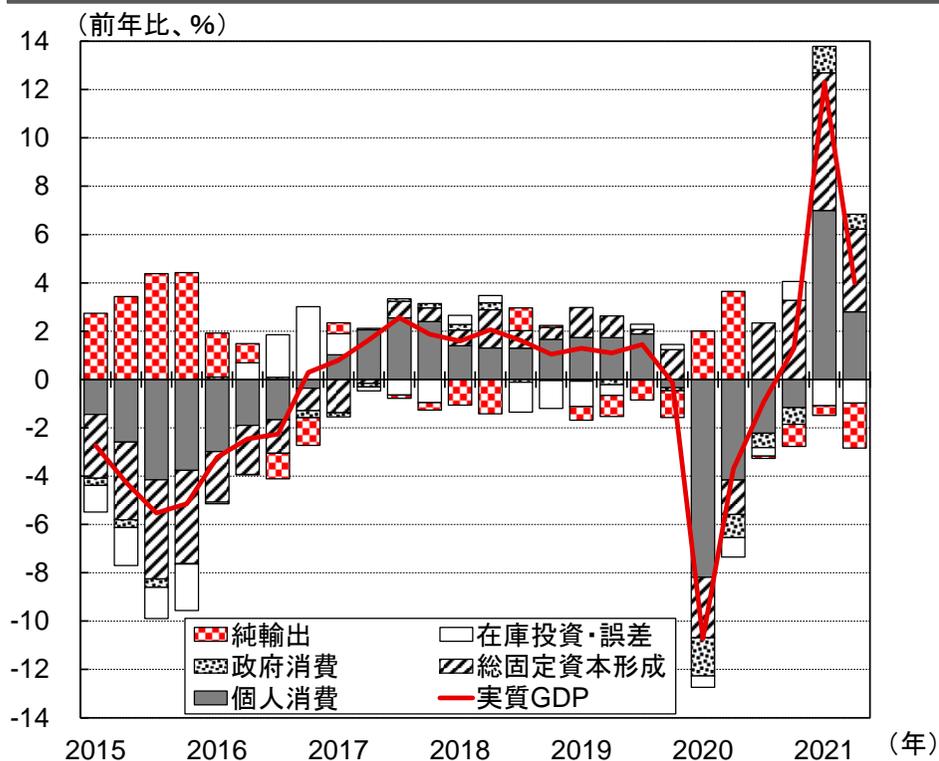
2022年1月19日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

# 1. ブラジル (1) 景気概況

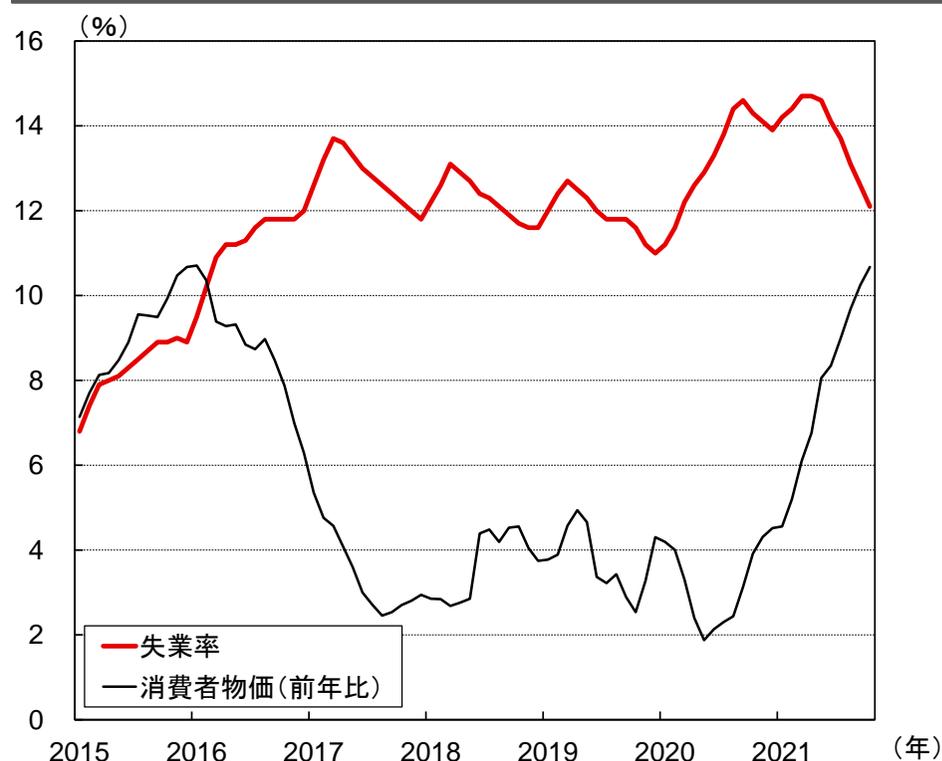
- 昨年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+4.0%。需要項目別の寄与度では、コロナ禍による落ち込みからの反動で、総固定資本形成(同+3.4%ポイント)や個人消費(同+2.8%ポイント)がプラス。他方、輸入の大幅増により純輸出の寄与度は同▲1.9%ポイントとなり、4四半期連続でマイナス寄与。実質GDP成長率を前期比で見ると▲0.1%と、2四半期連続のマイナス。個人消費(前期比+0.9%)の回復はみられたものの、天候不順に伴う主要農作物の不作により輸出(同▲9.8%)が大きく悪化。
- 失業率は、ワクチン接種の進展やサービス部門の緩やかな回復に伴い、10月は12.1%へ低下。
- 消費者物価上昇率は、食料・エネルギー価格上昇の影響で引き続き加速。10月は前年比+10.7%と、インフレ目標レンジの上限(5.25%)を大幅に超過。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

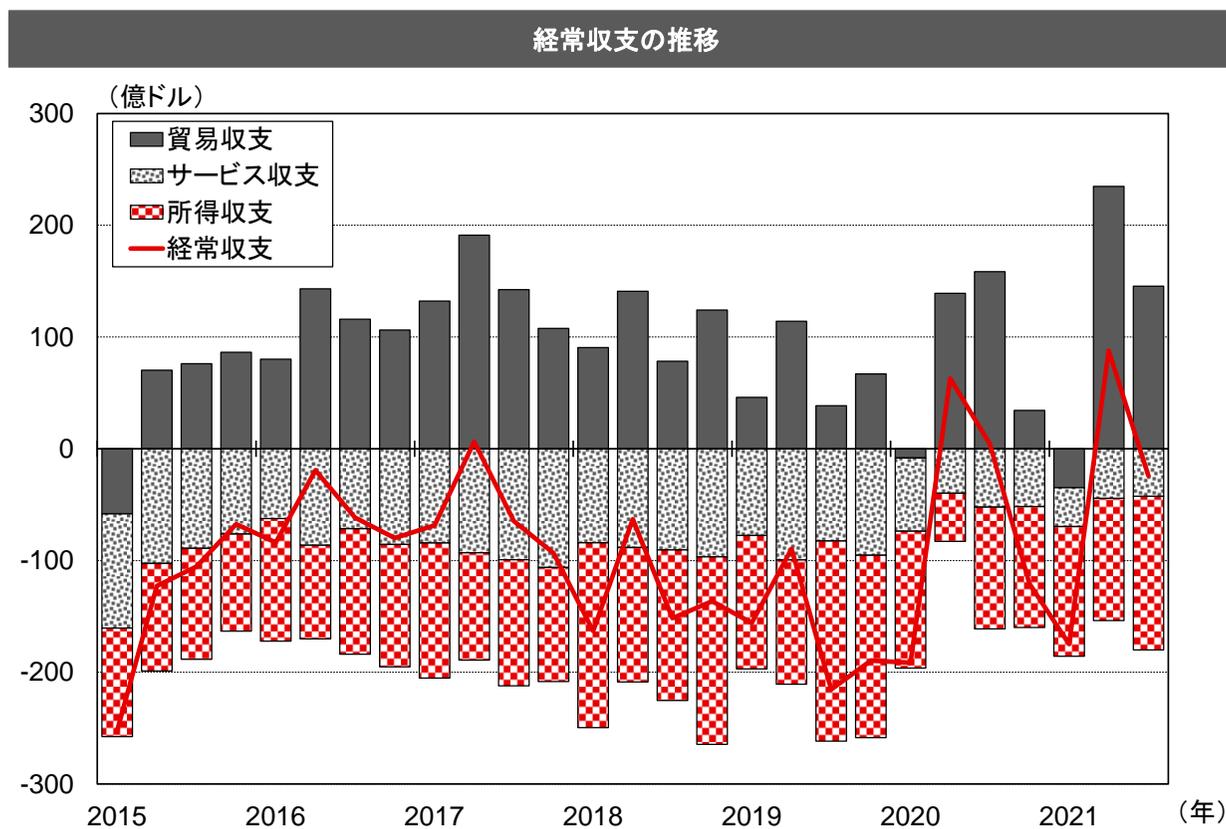
失業率と消費者物価上昇率の推移



(注)『失業率』は未季節調整値。  
(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (2) 経常収支

- 昨年7-9月期の経常収支は▲27億ドルと前年同期の4億ドルから赤字となった。
- 内訳をみると、貿易収支が146億ドル(前年比▲12.7億ドル)と対中国を中心に黒字幅が縮小したほか、所得収支が▲137億ドル(同▲29億ドル)と配当支払いの増加で赤字幅が拡大。サービス収支は▲43億ドルと前年と略同水準。



(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (3) 金融市場

- ブラジルレアルの対ドル相場は、ボルソナロ大統領の支持率低下が続くなか、今年10月の大統領選挙を前に財政規律が緩むことへの懸念等から昨年10月中旬には5.7レアルまで下落。ブラジル中銀による累次の政策金利の引き上げや、原油をはじめとする商品価格の上昇がレアルを支える要因となるも、政治・経済の先行き不透明感から足元までレアル安が継続。
- ブラジル中銀は、12月の金融政策会合で政策金利を1.5%引き上げて9.25%とした。利上げは、3月以降7会合連続。次回会合(2022年2月)でも12月と同規模の利上げを実施する見通し。
- 株価(ボベスパ指数)は、景気回復への期待等を受けた海外からの資金流入が下支えし、一時130,000ポイント付近まで上昇したものの、インフレ加速への懸念等から足元は100,000ポイント台まで下落。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボベスパ指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (4) 経済・金融概況

## ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/10-12	21/1-3	4-6	7-9	21/7	8	9	10
実質GDP成長率(前年比、%)	(1.8)	(1.2)	(▲3.9)	(▲0.9)	(1.3)	(12.3)	(4.0)				
経済活動指数○	137.55	138.41	132.88	137.69	139.63	139.14	138.94	139.34	138.93	138.56	136.87
鉱工業生産(前期比、%)○	(0.8)	(▲1.1)	(▲4.7)	(4.2)	(▲0.7)	(▲2.9)	(▲2.0)	(▲1.4)	(▲0.8)	(▲0.6)	(▲0.9)
設備稼働率○	(77.6)	(77.7)	(76.5)	(79.6)	(80.1)	(81.9)	(81.7)	(82.1)	(81.7)	(81.4)	(80.8)
小売売上高(前年比、%)	(2.4)	(1.9)	(1.1)	(4.4)	(▲0.7)	(15.3)	(▲1.2)	(5.7)	(▲4.1)	(▲5.2)	(▲7.1)
自動車国内販売台数(千台)	2,566	2,788	2,058	684	528	546	503	175	173	155	162
失業率(%)	(12.3)	(11.9)	(13.2)	(14.1)	(14.4)	(14.5)	(13.1)	(13.7)	(13.1)	(12.6)	(12.1)
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(3.7)	(3.7)	(3.2)	(4.3)	(5.3)	(7.7)	(9.6)	(9.0)	(9.7)	(10.3)	(10.7)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(6.6)	(7.3)	(16.2)	(31.6)	(39.4)	(52.4)	(38.0)	(44.3)	(40.0)	(30.5)	(26.0)
輸出(FOB)(億ドル)	2,319	2,211	2,092	534	557	804	773	256	273	244	225
(前年比、%)	(7.9)	(▲4.6)	(▲5.4)	(▲3.8)	(15.7)	(52.8)	(40.3)	(31.7)	(56.8)	(33.9)	(27.6)
輸入(FOB)(億ドル)	1,853	1,859	1,588	439	476	516	577	181	196	200	205
(前年比、%)	(16.6)	(0.3)	(▲14.6)	(▲2.8)	(5.0)	(56.0)	(57.8)	(53.4)	(68.8)	(52.0)	(55.0)
貿易収支(億ドル)	466	352	504	96	81	288	196	74	77	44	20
経常収支(億ドル)	▲515	▲650	▲245	▲121	▲175	88	▲24	▲11	4	▲17	▲45
直接投資ネット流入(億ドル)	782	692	378	66	193	75	165	66	52	46	25
外貨準備高(億ドル)◎	3,614	3,393	3,320	3,320	3,248	3,299	3,314	3,347	3,351	3,314	3,282
ベースマネー(億リアル)◎	3,020	3,166	4,315	4,315	4,056	4,222	4,037	4,280	4,063	4,037	3,962
政策金利(Seric Target rate)◎	(6.50)	(4.50)	(2.00)	(2.00)	(2.75)	(4.25)	(6.25)	(4.25)	(5.25)	(6.25)	(7.75)
対米ドル為替相場◎	3.87575	4.0227	5.1942	5.1942	5.643	5.01785	5.4489	5.1471	5.11955	5.4489	5.637
株価指数(ボベスパ指数)◎	87,887	115,645	119,017	119,017	116,634	126,802	110,979	121,801	118,781	110,979	103,501

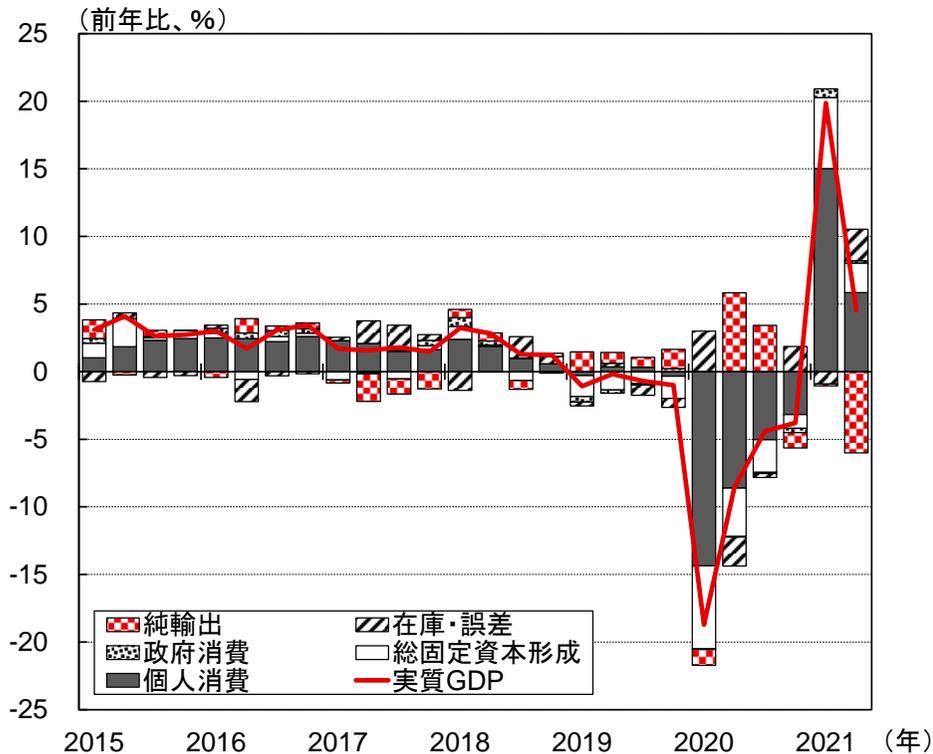
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料) ブラジル中銀、ブラジル地理統計院 (IBGE)、世界銀行、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (1) 景気概況

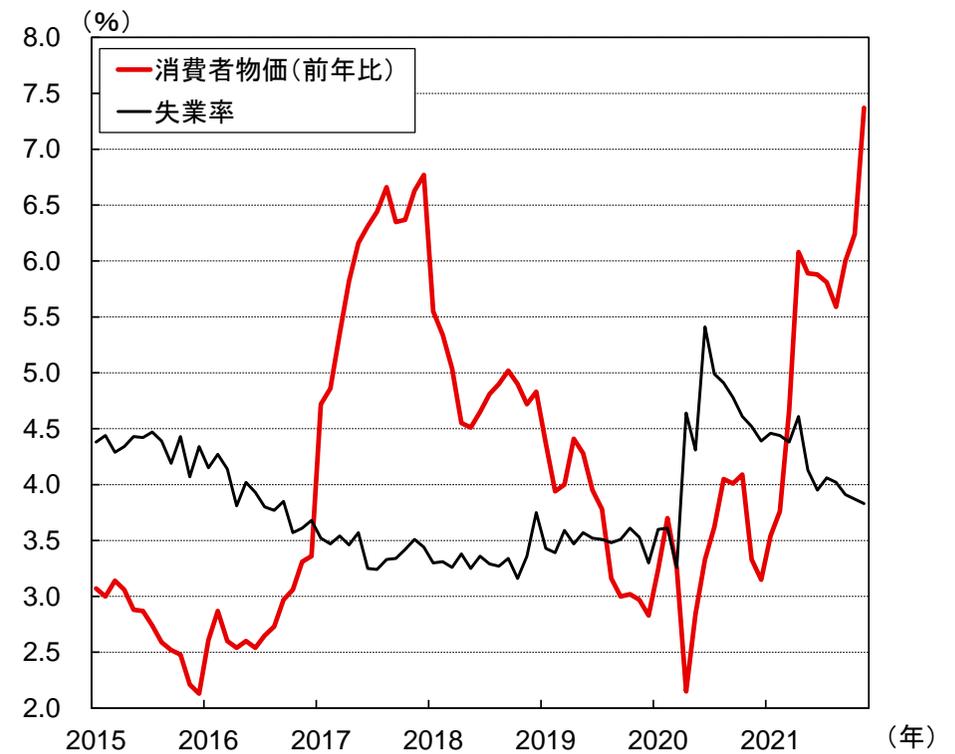
- 昨年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+4.5%と、一昨年の落ち込みからの反動や米国経済の拡大によりプラス成長が継続。需要項目別の寄与度をみると、純輸出は同▲6.0%ポイントとなった一方、個人消費が同+5.8%ポイント、総固定資本形成が同+2.2%ポイント。前期比での実質GDP成長率は▲0.4%と、前期の同+1.2%からマイナスに転じた。需要項目別では、個人消費(同▲0.4%)及び政府消費(同▲2.3%)が弱含み。
- 消費者物価上昇率は、2021年初以降加速に転じ、11月は前年比+7.4%に上昇。原油など国際商品価格の上昇、ペソ安の持続がインフレ要因となり、メキシコ中銀が定めるインフレ目標(同3%±1%)の上限を大きく超過。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

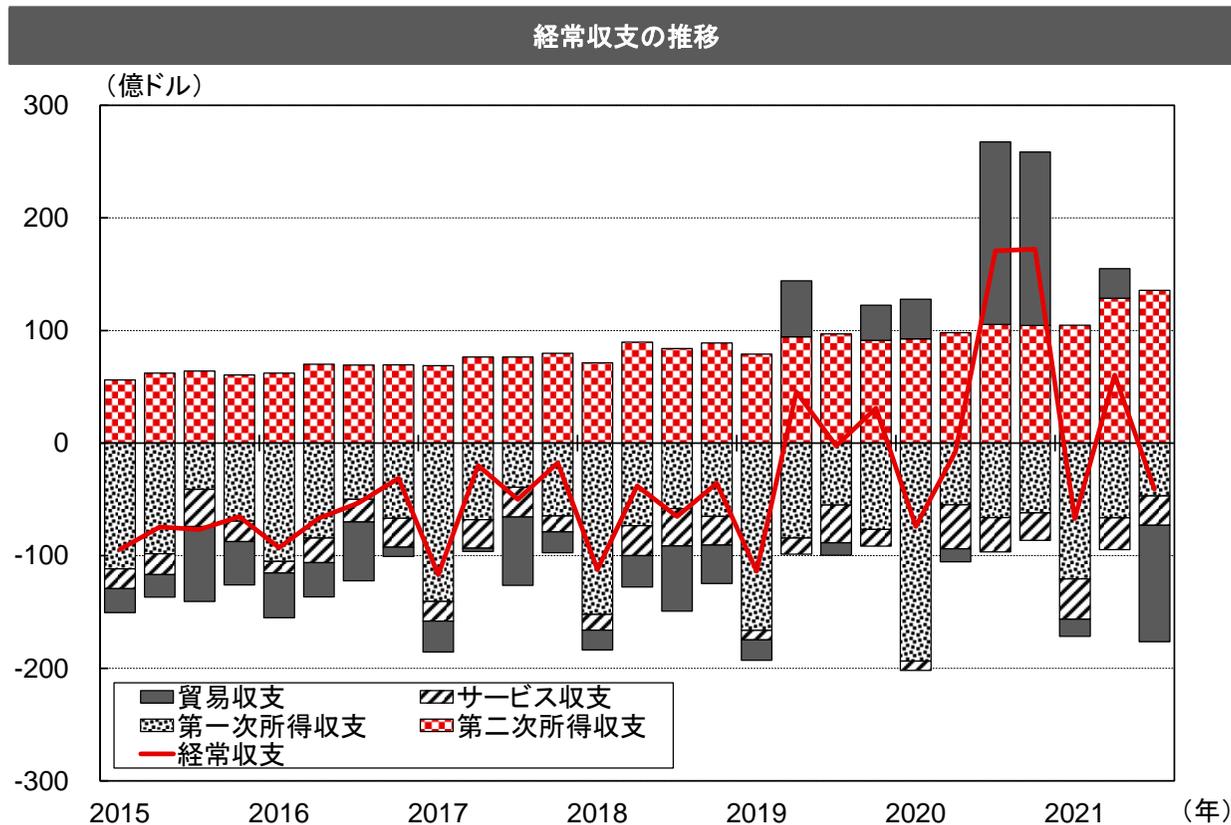
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (2) 経常収支

- 昨年7-9月期の経常収支は、貿易収支が赤字へ転じたことを主因に▲41億ドルの赤字。前年同期比では▲212億ドルと大幅に悪化。
- 内訳をみると、貿易収支は輸入の伸びが輸出を大きく上回り、▲103億ドルと大幅な赤字。一方、サービス収支は入国規制緩和に伴う観光収入の受け取り増加により赤字幅が縮小。第一次所得収支は配当金・利子等の支払い減により赤字幅が縮小したほか、第二次所得収支は米国等への出稼ぎ労働者からの送金受け取りの増加により黒字幅が拡大。

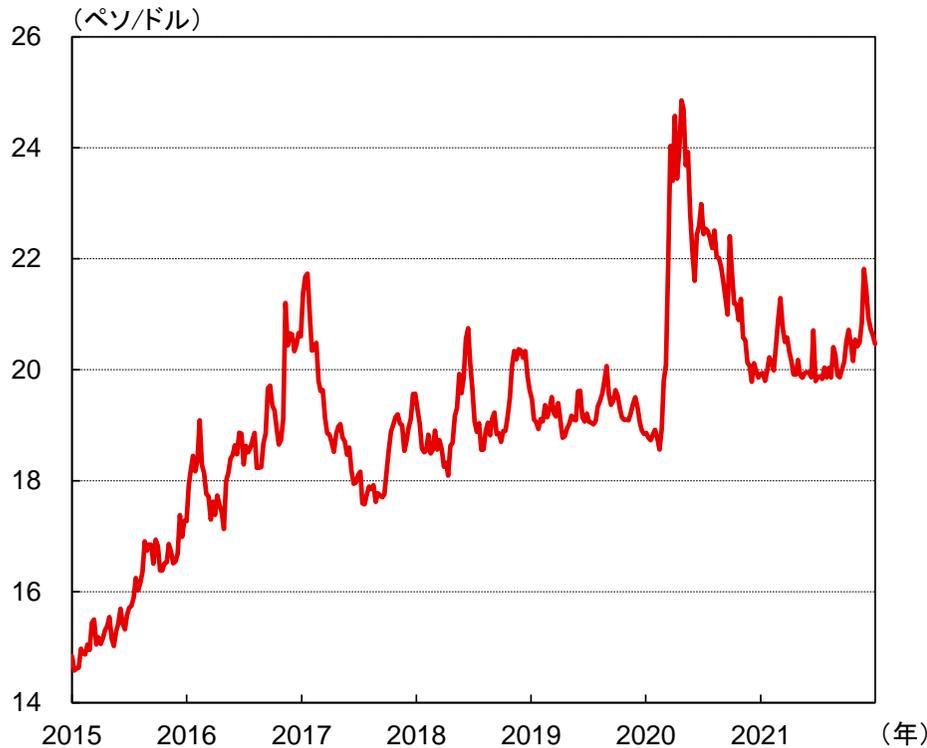


(資料)メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (3) 金融市場

- メキシコペソの対ドル相場は、昨年11月下旬には、米国におけるテーパリング加速と利上げ示唆などを起因とする長期金利の上昇等により、一時22ペソ付近まで下落も、その後反転。6月以降、中銀は5会合連続で計1.5%の利上げを実施。高インフレ率抑制のため、更なる金融引き締めも示唆。
- 株価(ボルサ指数)は、昨年1月にコロナ禍以前の水準まで回復した後も上昇基調にあり、12月下旬では53,000ポイント前後で推移。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (4) 経済・金融概況

### メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/10-12	21/1-3	4-6	7-9	21/7	8	9	10
実質GDP成長率(前年比、%)	(2.2)	(▲0.2)	(▲8.2)	(▲4.4)	(▲3.8)	(19.9)	(4.5)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(0.4)	(▲1.8)	(▲10.0)	(4.0)	(0.6)	(0.3)	(0.2)	(0.9)	(0.4)	(▲1.1)	(0.6)
自動車生産台数(千台)	3,908	3,773	3,046	914	821	775	667	222	237	208	258
自動車販売台数(千台)	1,422	1,315	949	285	222	244	201	64	61	77	77
原油産出量(千バレル/日)*	2,072	1,920	1,912	1,878	1,909	1,933	1,919	1,944	1,887	1,926	1,935
(前年比、%)	(▲7.0)	(▲7.4)	(▲0.4)	(▲2.7)	(▲3.6)	(1.6)	(1.7)	(4.9)	(▲0.8)	(1.2)	(3.5)
原油輸出価格(米ドル/バレル)	61.6	55.4	35.7	41.0	56.6	64.2	67.8	68.5	67.8	67.1	74.5
失業率(%)○	(3.3)	(3.5)	(4.4)	(4.5)	(4.4)	(4.2)	(4.0)	(4.1)	(4.0)	(3.9)	(3.9)
消費者物価上昇率(前年比、%)	(4.9)	(3.6)	(3.4)	(3.5)	(4.0)	(6.0)	(5.8)	(5.8)	(5.6)	(6.0)	(6.2)
輸出(FOB)(億ドル)	4,507	4,606	4,170	1,232	1,119	1,242	1,229	409	403	417	420
(前年比、%)	(10.1)	(2.2)	(▲9.5)	(5.4)	(3.3)	(67.0)	(10.7)	(15.2)	(9.0)	(8.1)	(0.0)
輸入(CIF)(億ドル)	4,643	4,552	3,830	1,078	1,134	1,216	1,332	450	442	441	447
(前年比、%)	(10.4)	(▲2.0)	(▲15.9)	(▲5.2)	(8.2)	(61.0)	(40.5)	(50.6)	(43.3)	(29.1)	(25.1)
経常収支(億ドル)	▲251	▲40	262	172.3	▲67.0	60.4	▲40.7				
資本収支(億ドル)	▲1	▲1	▲0	▲0.1	▲0.1	▲0.1	▲0.2				
対外準備(億ドル)◎	1,748	1,809	1,957	1,957	1,948	1,929	1,984	1,934	2,055	1,984	1,989
ベースマネー(億ペソ)◎	16,742	17,425	21,182	21,182	21,782	21,560	21,989	21,778	21,742	21,989	22,256
政策金利◎	(8.25)	(7.25)	(4.25)	(4.25)	(4.00)	(4.25)	(4.50)	(4.25)	(4.50)	(4.50)	(4.75)
対米ドル為替相場◎	19.69	18.88	19.93	19.93	20.46	19.91	20.54	19.86	20.04	20.54	20.54
株価指数(ボルサ指数)◎	41,640	43,541	44,067	44,067	47,246	50,290	51,386	50,868	53,305	51,386	51,310

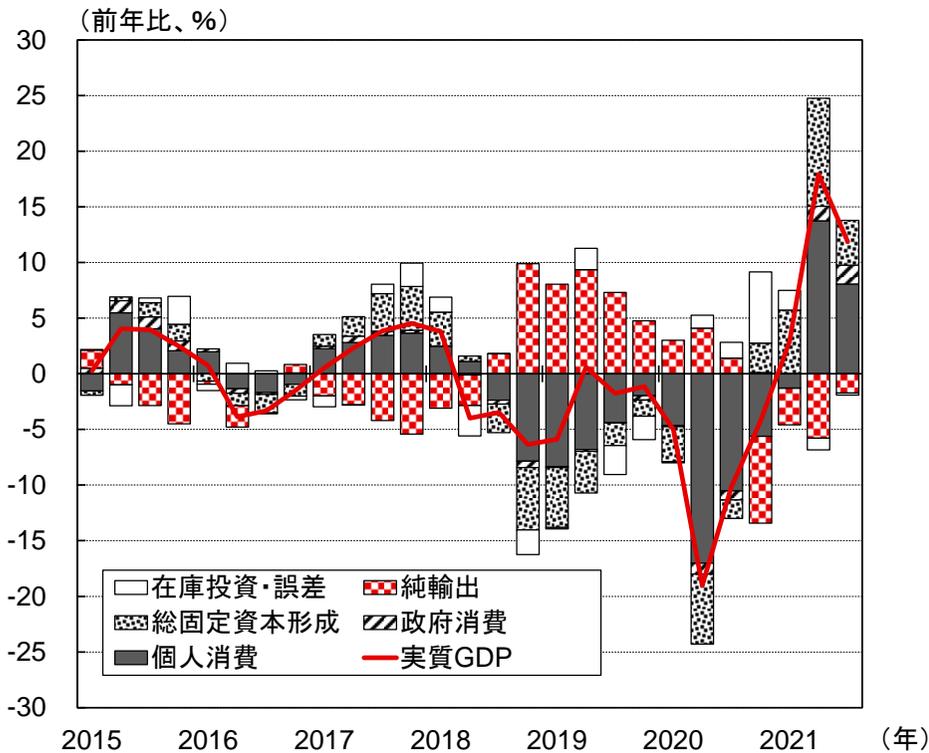
(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEX、Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (1) 景気概況

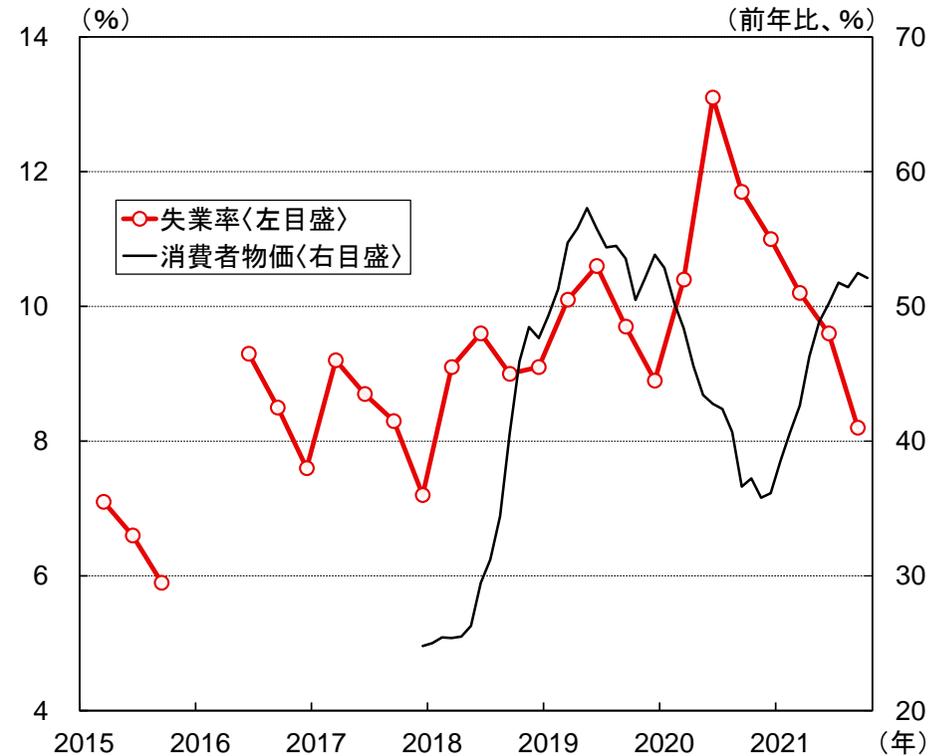
- 昨年7-9月期の実質GDP成長率は前年比+11.9%と、新型コロナウイルスの感染拡大ペース鈍化に伴う行動制限緩和を背景に3四半期連続のプラス。需要項目別の寄与度では、輸入増加により純輸出は同▲1.7%ポイントと4四半期連続でマイナスとなった一方、個人消費(同+12.1%ポイント)と総固定資本形成(同+4.0%ポイント)が大きく拡大。
- 11月の消費者物価上昇率は同+51.2%と引き続き高水準で推移。賃金の物価スライドやペソ安等が影響。
- 7-9月期の失業率は8.2%と、新型コロナウイルス感染拡大前を下回る水準まで改善。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

失業率と消費者物価上昇率の推移



(注)1.失業率の2015年第4四半期、2016年第1四半期は未発表。

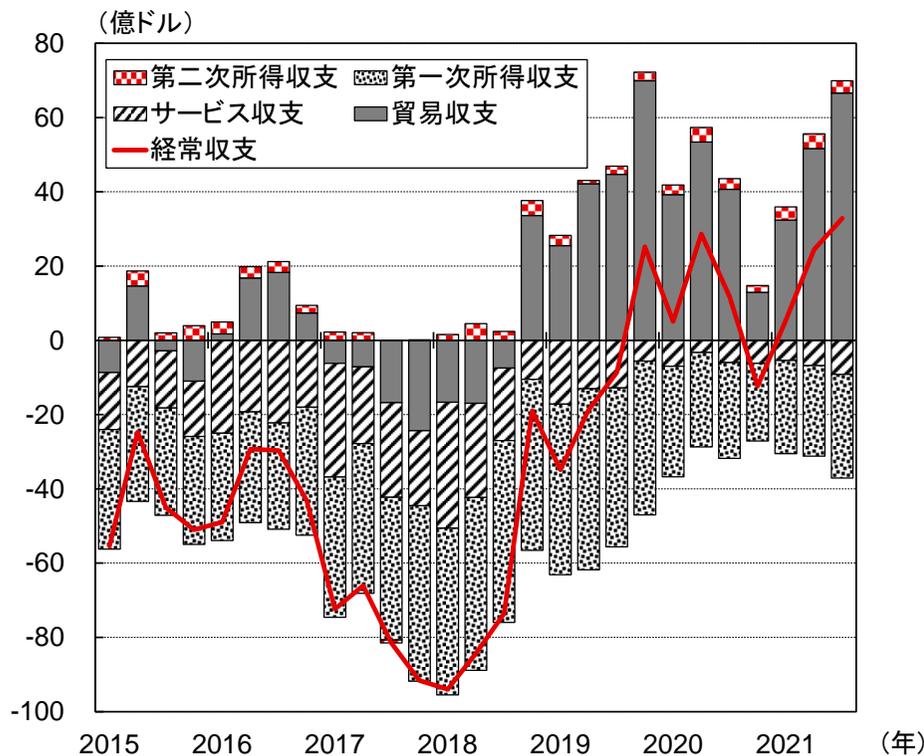
2.消費者物価指数の現行統計は2016年12月から公表。

(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

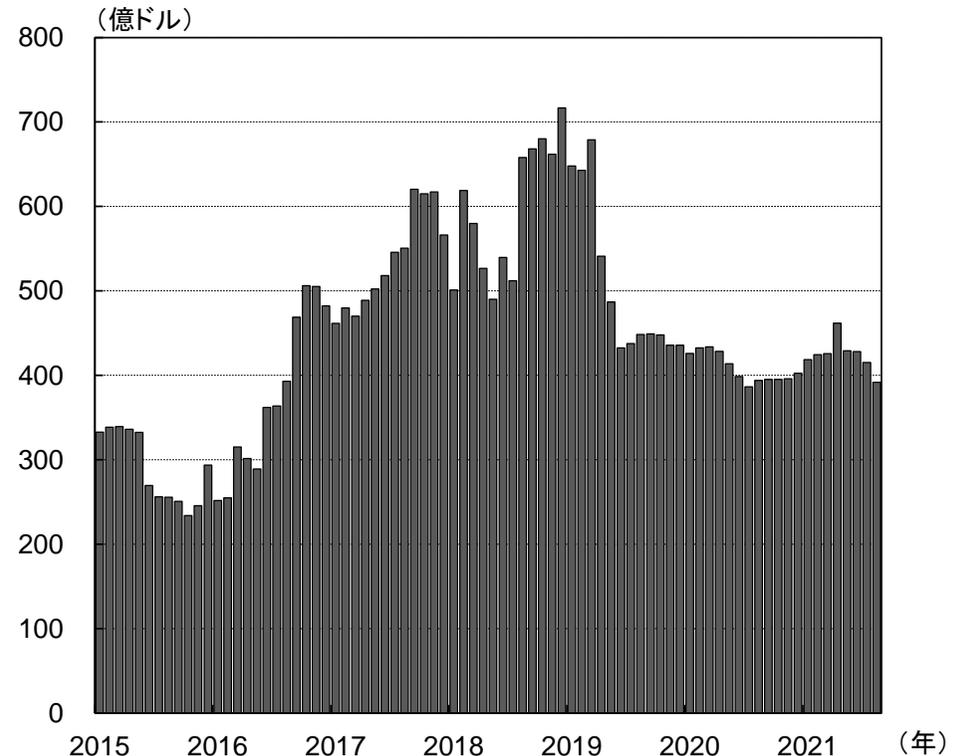
- 昨年7-9月期の経常収支は33億ドル(前年比+21億ドル)。価格上昇が続く燃料・エネルギー、穀物等の輸出が堅調に推移し、貿易収支が引き続きプラス寄与。一方、サービス収支は▲3億ドルの赤字、第一次所得収支も▲2億ドルの赤字と、前年から赤字幅が拡大。
- 12月末時点の外貨準備高は392億ドルと4ヵ月連続で前月比減少。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

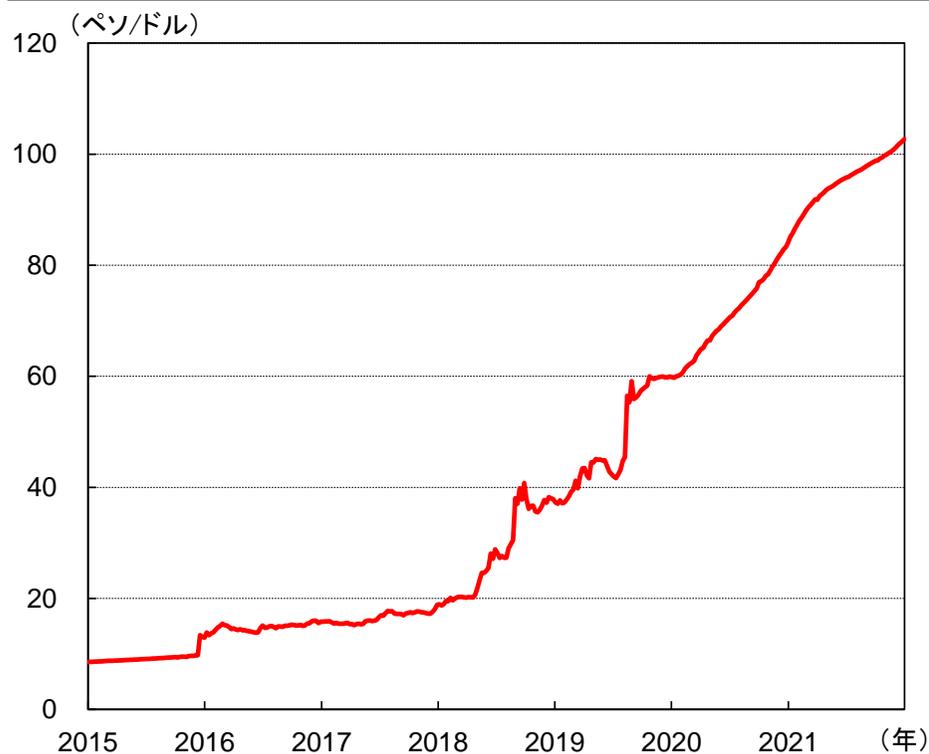


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (3) 金融市場

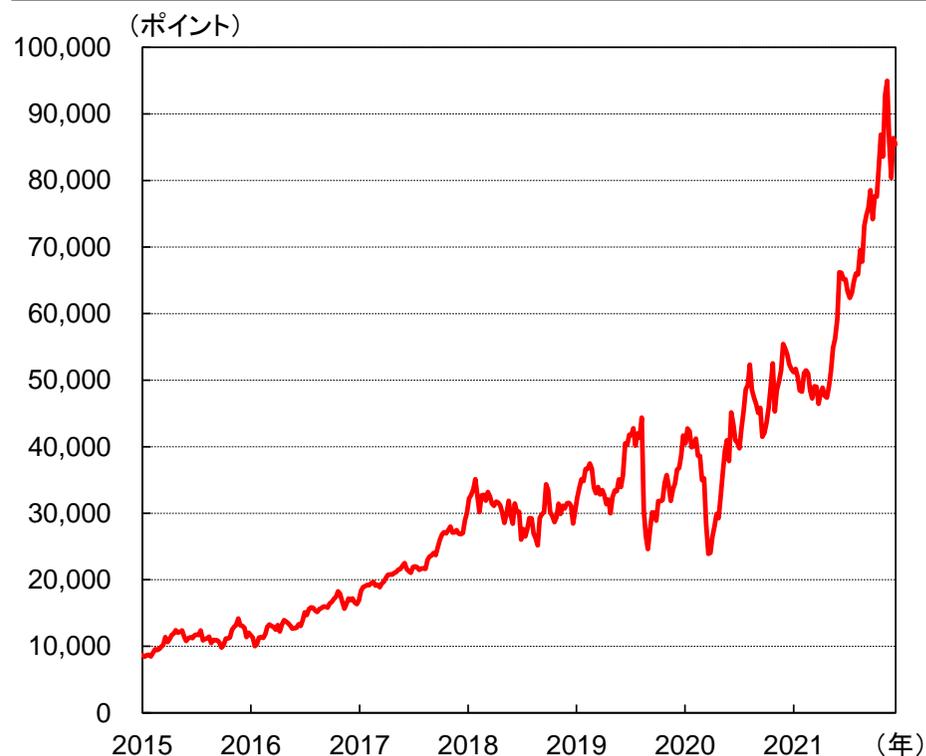
- アルゼンチンペソの対ドル相場は、2020年初の60ペソ前後からほぼ一貫して下落を続けており、足元では100ペソを上回って史上最安値圏で推移。
- 株価(メルバル指数)は、インフレ加速や景気持ち直しを受け昨年11月には一時95,000ポイント付近まで上昇。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

#### アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2018	2019	2020	20/10-12	21/1-3	4-6	7-9	21/7	8	9	10
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲2.6)	(▲2.0)	(▲9.9)	(▲4.3)	(2.9)	(17.9)	(11.9)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(▲4.6)	(▲6.2)	(▲7.1)	(2.3)	(13.1)	(35.4)	(12.2)	(12.7)	(13.9)	(10.0)	(4.3)
建設活動指数(前年比、%)	(1.9)	(▲7.8)	(▲18.7)	(10.9)	(47.9)	(140.2)	(18.3)	(19.8)	(22.7)	(12.4)	(8.3)
自動車生産台数(千台)	467	316	257	91	89	104	114	32	38	44	41
自動車販売台数(千台)	682	372	313	104	86	86	76	24	26	26	25
失業率(%)	(9.2)	(9.8)	(11.6)	(11.0)	(10.2)	(9.6)	(8.2)				
消費者信頼感指数	37.7	39.3	40.3	39.7	38.1	35.1	39.4	37.9	39.8	40.5	40.2
消費者物価上昇率(前年比、%)	(36.3)	(54.4)	(40.4)	(36.4)	(40.6)	(48.5)	(51.9)	(51.8)	(51.4)	(52.5)	(52.1)
輸出(FOB)(億ドル)	618	651	549	127	154	200	229	73	81	76	68
(前年比、%)	(5.3)	(5.4)	(▲15.7)	(▲25.9)	(15.5)	(40.5)	(56.9)	(47.1)	(63.5)	(60.1)	(46.5)
輸入(CIF)(億ドル)	655	491	424	120	129	157	174	57	58	59	52
(前年比、%)	(▲2.2)	(▲25.0)	(▲13.8)	(12.8)	(30.3)	(68.0)	(56.5)	(65.6)	(64.0)	(42.6)	(31.0)
貿易収支(億ドル)	▲37	160	125	7	25	42	0	15	23	17	16
対外準備(億ドル)◎	658	448	394	394	396	424	429	426	462	429	428
ベースマネー(億ペソ)◎	14,090	18,954	24,703	24,703	24,323	27,356	29,403	27,831	28,668	29,403	30,093
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	23,238	28,242	37,610	37,618	39,684	42,781	46,664	43,604	44,883	46,664	48,598
(前年比、%)	(36.6)	(21.5)	(33.2)	(33.2)	(34.8)	(34.1)	(37.4)	(34.0)	(34.2)	(37.5)	(0.0)
経常収支(億ドル)	▲271	▲37	33	▲12	5	24	33				
対米ドル為替相場◎	37.66	59.87	84.07	84.07	91.98	95.73	98.75	96.69	97.76	98.75	99.72
株価指数(メルバル指数)◎	30,293	41,671	51,226	51,226	47,982	62,372	77,364	66,005	76,452	77,364	83,561

(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、Thomson Reuters Datastream より国際通貨研究所作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp  
朴 大晃 dk\_park@iima.or.jp